

# あきらめない

URL: <https://youtu.be/eYqqV8aR9mc>

こんかい  
今回は "あきらめない" を学びながら、日本語を勉強しましょう。  
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には "ふりがな" があります。  
こうはん  
後半は少しだけ速く (+20%) なり、漢字に "ふりがな" はありません。  
がくしゅう  
学習にお役立てください。

## ■わたしのこと

なまえ  
わたしの名前はカレンです。アメリカからきました。今は東京に住んでいます。

にほんご  
わたしが日本語を学ぶ理由は、日本のアニメが好きだからです。  
こどものころから、日本のアニメをよく見ていました。アニメの中のことばや  
こえが、とてもすてきだと思いました。日本語がわかれば、もっと楽しくアニメ  
を見るることができます。そのため、日本語を学びたいと思いました。

にほんご  
日本語は、むずかしいとかんじるときもあります。新しいことばや字をおぼえるのは、たいへんな日もあります。それでも、少しあわかったときは、とてもうれしいです。

きょう  
今日は、「あきらめない」という考え方を知ってほしいです。日本語を学ぶとき  
に、大切な心だと思っています。この話が、学ぶときの力になればうれしいです。

## ■ 「あきらめない」の意味

「あきらめない」は、日本でよく使われることばです。すぐにやめないで、つづけようとする心のことを言います。むずかしいことがあっても、前にすすもうとする気持ちをあらわしています。

日本では、いろいろな場面でこのことばを聞きます。勉強でわからないときや、仕事でうまくできないときにも使われます。スポーツでまけそうなときにも、「あきらめない」と言うことがあります。どの場面でも、人の気持ちをささえられる力があることばです。

このことばは、「すぐにできなくても大丈夫」という考え方につながっています。少しずつづけることで、前にすすむことができると教えてくれます。毎日少しだけがんばることも、とても大切です。

むずかしいことに出会うと、だれでもとまることがあります。でも、もう一度だけやってみようと思う心が出てくることがあります。この小さな気持ちを大切にしたいときに、「あきらめない」ということばを使います。

このように、「あきらめない」は日本で大切にされる考えです。学ぶときだけでなく、毎日の生活の中でもよく使われています。

## ■ 日本の学校での考え方

日本の中学校では、「あきらめない」という考えがとても大切にされています。先生は、むずかしいことに出会ってもすぐにやめないでほしいと話します。子どもがまちがえたときも、せめるのではなく、その中にあるがんばりを見ようとします。まちがえることは、学ぶために大事なことだと教えるからです。

すぐにできないことがあっても心配するひつようはなく、少しずつできるようになることが大切だと伝えます。たとえば字をおぼえるときに、すぐに書けない子もいます。そんなとき、先生はゆっくりでいいと話し、その子がつづけていることをしっかり見ます。こうした教え方の中で、「すぐにできなくても、つづければできるようになる」という気持ちが生まれます。

日本の学校では、友だちと学ぶ時間も多くあります。うまくできない友だちがいても、せめたりわらったりするのではなく、ゆっくり待つ空気があります。みんなが同じ教室で学ぶことを大切にし、その中でおたがいをささえる気持ちがそだちます。

先生は、少しできたところをほめることも大事にします。小さな一歩でも、前にすすんだことをきちんと伝えます。そのことばが、またやってみようという気持ちにつながります。

このように、日本の学校では「あきらめない心」を毎日の学びの中でそだてています。こどもたちがゆっくりでも前にすすむことができるよう、先生はいつも見まもっています。

## ■スポーツでよく聞くことば

日本では、スポーツの場面で「あきらめない」ということばをよく聞きます。スポーツは、さいごまで何が起こるかわからないため、つづける気持ちがとても大切にされます。まけそうなときでも、がんばりをやめない心が力になると考えられています。

試合でうまくいかないとき、せんしゅは気持ちが下がってしまうことがあります。思ったように体が動かない日もあります。そんなときに、まわりの人人が「あきらめないで」と言うことがあります。このことばは、せんしゅの心を前にむけるためのものです。

スポーツでは、自分の力だけでなく、チームの力も大切です。つかれたときでも、みんなでこえを出してささえ合います。だれかがまけそうになんでも、チームの友だちが気持ちをもどすためにこえをかけます。「あきらめない」ということばは、チームの心を一つにする力があります。

日本のスポーツの中では、さいごまでがんばることが大事だと言われています。さいごの一回や、さいごの一歩で、試合がかわることもあります。だからこそ、どの場面でも「あきらめない」がよく使われます。

このように、スポーツでは「つづけようとする心」がとても大切にされています。むずかしい場面でも、前にすすもうとする気持ちが試合の力になります。「あきらめない」ということばは、その気持ちをささえる大切なことです。

## ■がんばりすぎない

日本語を学んでいると、うまくいかない日があります。どんなにがんばってもことばが出てこない日や、いつも書ける字をまちがえてしまう日もあります。がんばっているのにすんでいないようにかんじて、心がつかれることもあります。

こうしたときに大切なのは、がんばりすぎないことです。気持ちが重くなったら、一度休むことがひとつようです。休むと心や体の力が少しずつもどります。つかれたままむりにつづけるより、少し休んで気持ちをととのえる方が、また前にすすみやすくなります。

うまくいかない日は、だれにでもあります。わるいことではありません。がんばっている人ほど、つかれやすい日があります。ふかくいきをして、気持ちをゆっくりさせるだけでも心が少し楽になります。

少し休んだ後で、「もう一回やってみよう」と思えるときがあります。この小さな気持ちが、とても大切です。すぐに大きくすすまなくとも、小さな一步で前にすすむことができます。日本では、この一步を大事にする考えがあります。

やす  
休むこととつづけることは、どちらも学びの中でひとつです。休むことで力がもどり、またあきらめない気持ちが生まれます。うまくいかない日があっても、ゆっくり前にすすめば大丈夫です。

## ■はげましのことば

日本のは、あきらめない気持ちをとても大切にしています。うまくいかない人を、はげますことばがたくさんあります。

たとえば、うまくいかなかったときに「だいじょうぶだよ」と言います。まちがえた人に「つぎはきっとできるよ」と言う人もいます。「ゆっくりでいいよ」「少しずつでいいよ」ということばも、よく聞きます。これらのことばには、その人のがんばりを見ている気もちが入っています。

日本では、学校や仕事の場だけでなく、家の中でもこの考え方があります。子どもがしっぱいしても、かぞくはすぐに大きなこえでしかるだけではありません。「よくがんばったね」「ここまでできたね」と、できたところを見ようとなります。そのことばが、またやってみようという気もちを生みます。

友だちどうしでも、あきらめない心を大切にします。うまくできない友だちがいても、「一人でだめなら、いっしょにやろう」と言う人がいます。また人に「またやろう」「つぎはかかるよ」とこえをかけることもあります。こうしたことばが、友だちの心をあたたかくして、前にすすみやすくなります。

このように、日本人がよく使うことばには、あきらめない心をまもる力があります。すぐに行なうことだけを見ないで、「つづけていること」そのものを大事にする考えです。

## ■今日から明日につながる行動

あきらめない心は、少しずつそだてるすることができます。今日できる小さな行動から始めることが大切です。大きなもくひょうがあっても、いきなりぜんぶをやろうとしなくても大丈夫です。まずは一つだけ、かんたんなことをやってみます。

たとえば、日本語を学ぶときなら、一つのことばをおぼえるだけでも前にすすんでいます。5分だけ勉強する日があってもかまいません。毎日少しだけつづけると、心が前にむきやすくなります。少しできたところを見つけると、日本語が少しずつみについていることをかんじられます。

今日できたことに目をむけることも大切です。ぜんぶできなくても、できた部分が一つあれば、それは大きな一歩です。まちがえた日でも、「ここまでできた」と思うだけで、心が楽になります。できたことを見ようとする気もちが、あきらめない心をそだてます。

あした  
明日も、また小さな一步をふみ出すことができます。大きなへんかがなくても  
だいじょうぶ  
大丈夫です。少しずつ前にすすむことで、気がつくともくひょうに近づいてい  
きょう  
ます。今日の小さな行動が、明日の力になります。あきらめない心は、毎日  
なか  
中でゆっくりそだっていきます。

「あきらめない」はいかがでしたか。  
コメント欄から感想をみんなに教えてください。  
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Easy Japanese-listening-SUSHI

